

Talk / Lecture Event

写真()

photo parenthesis

2015.5.23 (sat.) 17:30 - 19:00

Talk / Lecture Event

第2回 写真(と)アーカイブ

講師：林田 新 (京都市立芸術大学芸術資源研究センター 研究員)

場所：The Third Gallery Aya

会費：700円 (1ドリンク/税込) 主催：824 (藤安 淳 宇山 聡範 福田 真知)

Talk / Lecture Event

写真()

Talk / Lecture Event

写真()

写真() 写真(と)アーカイブ

photo parenthesis

講師：林田 新

(京都市立芸術大学芸術資源研究センター 研究員)

2015.5.23 (sat.) 17:30 - 19:00

場所：The Third Gallery Aya

The Third Gallery Ayaの若手支援プロジェクト「824」として”写真()”のタイトルの元、トーク/レクチャーイベントを2~3ヶ月に一度、開催致します。824メンバーの藤安 淳、宇山 聡範、福田 真知が各方面で活躍する作家、評論家、キュレーターなどの方々をお招きしトーク/レクチャーを行います。

タイトルの”写真()”の通り写真をベースにしたトーク/レクチャーイベントです。例えば、写真(の)歴史や写真(と)言語、写真(から)見る彫刻などカッコの中にレクチャーのテーマを盛り込みます。そして824のメンバーが表現方法や媒体が様々にそれぞれが一貫して行ってるテーマの様に、またこのグループ名の由来となったThe Third Gallery Ayaという場を通して、写真をベースにまた写真に捕われないトーク/レクチャーイベントを開催致します。

第二回目として、写真(と)アーカイブ を開催致します。

今日、公文書に限ること無く様々な領域においてアーカイブが構築されており、それについて論じる機会も増えています。では、なぜ今アーカイブがこれほど注目されているのでしょうか。そもそも私たちはアーカイブをどのように捉えているのでしょうか。

2014年に開設された京都市立芸術大学芸術資源研究センターでは、アーカイブについて理解を深めるべく、アーカイブ研究会を随時開催してきました。今回のレクチャーでは、その研究員であり、視覚文化論、写真史 / 写真論を専門に研究を行っている林田新氏をお招きして、アーカイブ研究会のことを中心に、写真の記録性、氏の研究対象である東松照明の一連の仕事、震災と写真といった様々な話題を交えながら、写真とアーカイブについてお話を伺いたいと思います。

林田 新 HAYASHIDA Arata



京都市立芸術大学芸術資源研究センター研究員 / 大学非常勤講師。専門は視覚文化論、写真史 / 写真論。

現在は報道写真をめぐる理念と実践に着目し研究を行っている。

主な論文に「長崎の皮膚——『〈11時02分〉NAGASAKI』」(『現代思想』41号、2013年)

「星座と星雲——「名取=東松論争」に見る「報道写真」の諸相」(『映像学』第84号、日本映像学会、2010年)、

「写真を見ることの遅に——中平卓馬論」(『写真空間』第4号、青弓社、2010年)など。

共訳論文にサンドラ・S・フリリッパス「森山大道 ストレイ・ドッグ」(『森山大道 オン・ザ・ロード』月曜社、2011年)。

予約先：tamaki@thethirdgalleryaya.com 06 6445 3557



The Third Gallery Aya

〒550-0002

大阪市西区江戸堀 1-8-24 若狭ビル 2F

Wakasa Bldg.2F, 1-8-24 Edobori

Nishi-ku, Osaka Japan 550-0002

Tue-Fri 12:00-19:00 Sat 12:00-17:00

Tel/Fax 06-6445-3557

info@thethirdgalleryaya.com

http://www.thethirdgalleryaya.com

会費：

700円

(1ドリンク/税込)

主催：

824

藤安 淳

宇山 聡範

福田 真知

同時開催中の展覧会：宇山 聡範展「through a window」2015年5月19日(火) - 5月30日(土) 火曜 - 金曜 12:00 - 19:00 土曜 12:00 - 17:00

photo parenthesis